

第5回 幼保小合同研修会

日 時 令和6年11月19日（火）午後3時～午後4時40分

場 所 郡山市総合福祉センター5階 集会室 （対面研修）

教育講演

「幼児期の教育と小学校教育をつなぐ幼保小連携の在り方について」

福島大学 人間発達文化学類

教授 宗形 潤子 氏



先生の講義とグループディスカッション、全体交流も行い、最後は「明日につながるリフレクション」で充実した研修会でした。

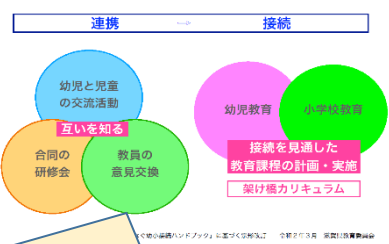
講師の宗形先生は、福島大学附属小学校はじめ県内の小学校に勤務された後、福島県教育庁県中教育事務所指導主事を経て、現在、福島大学に勤務され、教育実践学等について、講義をされております。また、今年度は第4期郡山市教育振興基本計画を策定する審議会の副会長として、郡山市の教育のために、ご指導、ご助言をいただいております。今回は、幼児期の教育と小学校教育をつなぐ幼保小連携の在り方について、私たち教育・保育者は、どのような点に留意して指導していけばよいのかを、「幼保小の架け橋プログラム」を踏まえてご指導いただくとともに、実践のヒントを学びました。

※参加者→幼稚園・保育所（園）・認定こども園・小学校関係者等 66名

【講演の主な内容】

- 仲良くなろう？！
- 幼保小接続に関わって（理論&理解編）
- お互いを理解しよう（実践編）
- 全体交流（スパイタイム）
- 明日につながるリフレクション

連携と接続の違いは？



「連携」は互いを知る。一緒に何かをし始めると「接続」となる。接続を見通した教育課程の計画・実施 架け橋プログラム

■個別最適な学びと協働的な学び

- ・「指導の個別化」とは、一定の目標を全ての子供が達成することを目指し、異なる方法等で学習を進める。「学習の個別化」とは、異なる目標に向けて、学習を深め、広げる。「協働的な学び」とは、異なる考え方が組み合わせり、よりよい学びを生み出す。

■幼児教育への注目

- ・非認知能力（社会情動的スキル）を育てるために
 - やりたいことをできるだけやらせる
 - 失敗しても「大丈夫だよ」と伝える
 - 友だちと協働できるチャンスをつくる

＜キーワード＞
主体性・遊び
安心・愛着

■幼保小の架け橋プログラム

- ・園と小学校の先生が、子供の育ちを中心に据えた対話を通して相互理解・実践を深めていく。

【アンケートから～参加者の声～】

- 今、行っている幼児教育の質を、もっと良くしたいと感じた研修でした。何よりも子どもたちの主体性「どうしたいか」という思いを大切に環境を整えていくことが、子どもの成長に繋がることを理解しました。（保育所 保育士）
- 受容的、許容的な園の先生方の考えや態度に感銘を受けました。どうしても学校は結果、結果に目が行きがちになりますが、過程や出会い（教材・素材との）を大切にして、非認知能力を養っていく必要があると思いました。（小学校 教諭）